



日本はアメリカの植民地ではない！

沖縄県の米兵による女性暴行事件は、昨年12月に発生し、3月27日に起訴された。外務省、首相官邸とも情報を把握しながら、6月25日まで公表しなかった。6月23日の沖縄慰霊の日、沖縄県議選の後まで事実を明らかにしてこなかった。政府ぐるみで隠蔽していたといわれても仕方のない経過である。沖縄県での米兵による女性暴行事件は昨年から今年にかけ5件発生していたのに、県警から県に報告がなかった事実も明らかになった。昨年の段階でこの情報共有がなされていれば、再発防止の対策も取られていた可能性もある。人権も尊厳も踏みにじるような許しがたい性犯罪を防ぐことできたかもしれない。政府の対応は断じて許されない。1996年の「沖縄に関する日

米特別行動委員会合意」で、米軍関係の事故について、「日本政府及び適当な地方公共団体の職員に対して、適時の通報が確保されるあらゆる努力が払われる」と明記されているにも拘わらず、合意に背くものである。被害者への謝罪や完全な補償、政府の対応を含む事実関係を解明し、米軍人・軍属への綱紀の粛正、再発防止策の実施することや、その具体的内容を公表することが必要である。日米地位協定の見直しとその根源にある日米安保条約の廃棄こそ必要である。報道ではその後も事件は起きている。日本はアメリカの植民地ではない。「同盟」女性部として、沖縄県の女性部長と連名で上記の内容で抗議文を政府に送った。

(大石喜美恵)



大 阪 版

No. 509

発行所

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034
東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター 全労連会館

大阪府本部

〒543-0045
大阪市天王寺区寺田町2-6-2
東大阪 (ARK) ビル 3F

TEL・FAX 06-6772-7555
振替 00910-6-53293

E-mail

tidouosk@opal.plala.or.jp

URL

<http://doumeinews.exblog.jp/>

私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 三、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと

7月理事会 (7月6日)

第43回府本部大会を成功させよう!

まず、同盟中央本部国際部長で元大阪市立中学校教諭の岩下美佐子さんを講師に「子どもたちが狙われている!!教科書問題」と題した学習会を行った。

【要旨】

中学校の教科書採択は4年に1回で今年がその年に当たる。採用された教科書は来年新学期から4年間使用される。主に問題になるのは歴史の教科書で、8社が合格、このうち自由社、育鵬社、令和書籍が危ない教科書である。1997年、新しい歴史教科書をつくる会の結成以来、歴史修正主義者たちが右記教科書に関わって来た。現在、政府は司法、マスコミ、教育の3分野に介入しているが憲法違反である。

教科書を巡る攻防は、たまたかの成果もあって、育鵬社の歴史教科書の採択率は2015年の6.3%から2020年は1.1%へと減っている。今回もさらに減らすよう、市民と教員で声をあげて行きたい。

◎大石会長あいさつ

沖縄で米兵の女性暴行事件が起ころうながら政府は半年も隠ぺいしていたことが発覚した。同盟女性部長として沖縄の国賠同

盟女性部長と連名で抗議文を送った。

◎甲斐事務局長の報告

仲間ふやしは5名減1名増。1名増はカンパ申し入れの電話があり、会員でないとということを入会してもらったもの。

6月末に夏季募金依頼書を一都地域に郵送。個別に訪問してお願いする地域は分担して日を設定して訪問する。

7月19日の大会への出席者は百名を目指す。今日まで一年間の新入会員には、参加を呼び掛ける封書を約50名に送付。

中央から『治安維持法とは何か』という学習テキストを1千冊取り寄せたので、読み合わせ会を開いてほしい。一部500円で上納は400円、100円は支部に還元するのでたくさん販売して支部財政に。そのほかの書物、CDもあるので書籍部を作って積極的に販売したい。

◎女性部報告 (柴田さん)

大阪母親大会で諸団体と交流↓9月の全国大会 (和歌山) の成功へ参加者募る。女性部の役員を補充する必要がある。

◎財政報告 (佐野さん)

折り機購入22万円の支出があったのでカンパを募る。

◎各理事の発言

横山さん 理事のメンバーに支部のあるところの人が少ないので、もつと来てほしい。

岸野さん 署名活動など熱心だった人が退会されたという。その理由をちゃんと聞いて今後に生かさないといけないのでは。

大島さん 署名活動にがんばっても、署名委員会での努力内容がちゃんと評価されず、ただ数字の追求だけだと人間的な交流にならない。反省すべき。

横山さん その人は会員辞めても署名協力はすると言ってくれている。ただ組織の雰囲気嫌だと言ったことだ。深刻に受け止めないといけない。

岩下さん カンパして入会もしてくれた人の話をもっと聞きたい。ぜひ大会に参加してもらって発言をお願いしよう。

大島さん 沖縄の平和行進で3日間歩いた。うるま市では自治会の人たちも自衛隊訓練所反対の声をあげ、市議会も動かしている。

岩佐さん 旧優生保護法は違憲と言う判決が最高裁で出た。そこに当時の法自体が違憲と書かれていない。治安維持法も同じではないか。当時は合法だという主張を覆さないといけない。

◎大石会長まとめ

懸案が多くあり、返してい

ないといけない問題提起もされた。情勢はたいへんなところに来ているので、なんとか課題を解決して行きたい。(岸野)

鶴形碑前祭

主催 あかつき川柳会

来る9月14日(土・11時から12時) 大阪城公園内の鶴形顕彰碑前にて第17回碑前祭を開催します。

★地下鉄谷町線谷町4丁目駅②番出口から東へ徒歩8分で馬場町交差点より大阪城公園に入る

★エレベトリックカー(一回大人300円、65歳以上二百円) 馬場町駅で乗車→豊国神社前駅で下車、徒歩3分で顕彰碑到着。

※詳細は「あかつき川柳会」まで代表加山勝久氏 090-2241-545



暁を抱いて闇にゐる蕾

2024年第41回全国大会

いつその組織と運動の発展を誓い合う

6月19日(水)～20日(木) 於東京・全労連会館



治安維持法犠牲者国賠同盟第41回全国大会が開かれました。吉田万三会長は挨拶で同盟は「再び戦争と暗黒政治を許さない」ことを大きな柱とするとともに、犠牲者に対し、謝罪と賠償・名誉回復を要求し続けることを、もう一つの柱として活動する、と強調しました。

来賓には、日本共産党参議院議員山添拓氏(東京都本部の青年部長)、自由法曹団事務局長山添健之氏が出席されました。活動報告と運動方針を中央本部事務局長田中幹夫氏が報告の発言する大石府本部長



後、討論に入り一日目は9人が発言。その後、渡辺治(一橋大学名誉教授)氏が「治安維持法施行百年と日本国憲法」と題して90分間お話しされました。夕方からは出席者全員での大交流会を開催。中央合唱団の歌声、北海道ブロックから九州ブロックまで全ブロックの演芸やお話で大いに盛り上がった。二日目は午前9時に開会し35人が発言。各県の発言は学習会、講演会、映画会、各地の顕彰活動等々を通じた、実践に裏打ちされたものでした。

小松実副会長の言う「いまにつながる治安維持法体制に決着を」つける為には、私たちの隊

勇退された田中事務局長



大いに盛り上がった交流会

列はあまりにも小さいです。2年後の大会に向けて先ず3000人を仲間にして、2万人同盟を建設しましょう。そして、市民と野党の共闘で政治をかえることが出来ても、2万人では「治安維持法体制に決着をつける」にはとても無理で、圧倒的多数の国民世論を味方にする必要があります。

大会では学習テキスト『治安維持法とは何か』の発行が発表されました。

このテキストこそ「圧倒的多数の国民世論を味方にする」ための基礎となる武器です。単なる学習会ではなく、「読み合わせ会」でこの中身を全員が腹に落とし、強大な治安維持法同盟を建設しましょう。

沖縄国民平和行進に参加して

枚方・交野支部 大島 守

17日、名護市辺野古の砂浜で出発集会をし、22日まで「沖縄、日本に核も基地もいらない」「被爆国、日本政府に核兵器禁止条約を批准させよう」など、訴えながら行進をした。

米軍のキャンプハンセン演習場前で、抗議集会と学習会をした。1995年、女子高校生が米軍兵士に暴行され殺害された。当時の大田知事は「一人の子どもの命も守れなかった」と。米軍基地撤退の大運動がおこり、日本政府は、本土の東富士や北海道矢別などに米軍の演習場を分散したが、沖縄に米軍基地がある限り、同時に日米地位協定が改正されない限りこのような問題はなくなるらない。

糸満市摩文仁の平和公園を出発し、魂魄の塔で学習会。唯一地上戦があった沖縄で、20万人余りの人が亡くなった。(沖縄県民の四人に一人)その四分の一の人がこの糸満市米須あたりで亡くなった。魂魄の塔には当初3万5千人余りの遺骨が収容されていたが今は、一部摩文仁の丘に移された。沖縄の人は、慰霊の日(6月23日)に平和公園に行く前、ここにお参りに来るそうです。(左へつづく)

今回全国大会代議員にと言われた時、署名を集めるくらいの一会員なのに恐れ多いと思つた反面、全国のたまたかのお話も聞きたいという気持ちで初参加。

大会は議事進行もスムーズで発言も多様性に富み、ハーモニカ演奏の人まで、いかに平和を考え暮らしやすい社会を目指して活動されているか判りとても感動しました。

元氣な県の発言に励まされ、大阪も頑張ろう

淀川 浅野祐子

第41回全国大会に参加して



「がんばろう」を熱唱する大阪の仲間たち

大阪は全国的にみれば会員・署名数も多くよく頑張っているところでしたが、この間に会員数二桁も減らしている事実に驚きショック！

この会に入会して「心の支えになっている。楽しい」と思えば、体調や生活事情の困難さとかかえていても退会しないでしょう。減少の具体的な内容を分析して、どのように、早急に克服するか、丁寧な活動方針を立て、謙虚にとらえる必要があると思います。その意味で、北海道や埼玉の元氣な活動は大いに教訓となりました。



発言する甲斐府本部長
務局長



速射砲の様な講演だった
渡辺治先生

森 秀三(府本部副会長)

初めて全国大会に参加しました。感動と開眼の二日間でした。何のために活動するのか(無名戦士の掘り起こし)、戦争は過去の話ではない。(安倍、菅、岸田首相の戦争国家作り)、虫けらのように殺されていった活動家を今に蘇らせ、まさに、人格を持った人間に生き返らせるために(治安維持法の犠牲者)、同盟の運動はなくてはならない存在だ。懇親会では中央合唱団の先導のもと「がんばろう」を、力いっぱい歌いました。



発言するはた愛高知県議



各県・ブロックからの差し入れ

防衛省と交渉で「戦争で死んだ人たちの遺骨を新基地建設の埋め立てに使うなんて、そんな非人道的なことが許されるのですか。二度殺すのですか。埋め立てに使ったら遺骨は二度と家族の元に帰らないのですよ」と言う、「私たちは、計画をたてただけで、使うか、使わないかは業者が決めることだ」と。酷い話です。

岸田首相は、「ウクライナは、次の東アジアの問題だ」と言つて、軍事費を8兆円から10兆円に増やした。これは戦争の危機をあおるだけで戦争抑止にはなりません。本当に戦争を止めるのは憲法9条に基づく外交です。今回の平和行進に参加して痛切に感じた。今、沖縄で起きている問題と関連させてともに闘うことだと思つた。



防衛省は、この辺りの遺骨や遺品混じりの土砂を辺野古新基地建設の埋め立てに使う計画を立て、地元業者に委託しています。

横浜事件 戦時下最大の言論・思想弾圧 (第十六回)

細川嘉六の生涯と論文「世界史の動向と日本」

⑮ 満鉄囑託となる

上山 慧 (府本部事務局次長)

一九三七(昭和一二)年七月七日に勃発した日中戦争のはじまりである盧溝橋事件以降、国内では戦時経済の重圧が国民を圧迫しはじめているのを見て、風見章は細川に国内各地の踏査を依頼した。一九三九(昭和十四)年夏、風見の資金援助のもと、国民が日中戦争をどうみているのかを確かめるため、北海道から四国・九州にかけ、世論調査の旅を行った。戦後細川はこのことについて次のように証言している。

「一九三八年、僕は年来、全



近衛文磨

国行脚してみたいと思っておった。日本の現状ということを見君が書いておって、行つて貰えんかという。費用は必要なのは出すからというので、それで三九年に出たんですよ。関東から北海道を歩いて、それから九州、四国を歩いてレポートした。それは家に残っておりまして、出先出先で書面を書いた。友人に送った。あれは第二次近衛内閣ができるときですから、四〇年ですよ。／＼それで風見さんはちょうど私が感じたことと同じだと、近衛文磨と会って話してくれんかというので、近衛君と会いましたよ、華族会館で。近衛、西園寺、牛場彦彦(注・政治家、近衛の側近)と話しました。」(細川嘉六述、荻野富士夫・西村央編・解説『河童自伝—細川嘉六生いたちの記・「放談」・獄中書簡」六花出

版二〇二四年)

細川と近衛が会談したのは、正確には一九三九(昭和十四)年九月三〇日である。そして、細川は近衛に次のような進言をしたという。

「国民の考え、肚の底に沈潜しておるものは戦争には賛成していないということだから、いよいよの場合は、近衛さん、あなたはまだ内閣総理大臣なんかになりなされるな、殊に青年と肚を割つてやりなさい、青年と共に終始すると。政界から退いてこれをやるべきだといったら、それを西園寺が今日はいろいろあじりましたねといった。風見君は、近衛さんに肚を割れといつてもはらわたはないよといった。」(前掲『河童自伝—細川嘉六生いたちの記・「放談」・獄中書簡」)

細川は、別の回想でも、この世論調査の旅行と、近衛との会談のことを記している。

「一九三九年夏北海道から九州四国にかけ、各地方の情勢、殊に国民が侵略戦争をどうみて

いるかを確めるために旅行に出たこともある。この視察旅行後、風見氏のすすめで近衛文磨氏と会談し、戦争については国民は表面とはちがひ、内心は無理に引きこまれているので厭戦気分の伏在している状態にあること、近衛氏は政界からのがれ京都に閑居し、軍部がどうともならなくなり、指導権を近衛氏に渡すとき始めて一切をかけ政界で活動すべきであること、その間腹をわり赤心を全国青年諸君に語りつつ、青年諸君の奮起と団結に努力すべきことなど進言したこともあった。」(細川嘉六「書齋の思い出(続)」『思想』三五八号岩波書店一九五四年)

しかし、この細川の進言に近衛は興味をしめさず、むしろ進言とは反対に、会談から一年後の一九四〇(昭和十五)年七月二二日、第二次近衛内閣が成立した。この組閣に風見は最後まで反対していたというが(前掲「書齋の思い出(続)」、結局司法大臣として入閣した。(つづく)



日本国憲法を読み直す大切さ

大阪母親大会での池内了さんの話を聞いて

理事 北野倫子 (西淀川区)

「なぜ日本は戦争に負けたのか？」の問いに、日本人気質の、責任観念の欠如、水に流す、誰も自分の行動の責任を取らない、今さらアレコレ言っても仕方がない、政府が決めたのだから従うのが国民の義務であると言います。「臭い物には蓋をする」「長い物には巻かれる」の諺もあります。戦争に反対する人、国の政策に異を唱える人に弾圧して「非国民」と言っただけです。棄兵棄民政策をとりなが

らシベリア抑留や、治安維持法で犠牲になった人たちへの謝罪・補償が今日においてもありません。大阪市においても、数ある箱物行政のうち、成功したのは海遊館だけだと聞いています。宴会で決定した万博・カジノです。税金を湯水のごとく使い、爆発があっただけでなく、ヒアリまで出現しています。こんな危険なところへの遠足計画など責任をどう取るのでしょうか。「国家権力」という言葉はよく聞きますが「国



6月28日大阪母親大会で同盟女性部も私たちの活動をアピールしました。

権」という言葉を初めて聞きましした。国家のために国民に奉仕を強要する、国家が消滅してもいいの、かという脅迫により、戦争へと突き進むのです。人権・憲法を無視する国権主義を放棄し、日本国憲法



を読み直すことの大切さを話されました。大阪では、憲法の上に条例をおき、市民・府民・職員をないがしろにしています。西淀川区姫島駅前での万博反対の宣伝では、小学生の女子三人が万博のスピーチに、毎回拍手をし、小学4年の男の子は、「何故こんな大事なことを書いてあるピラを、大人はとらないの」と言いました。兵庫県の人たちが「こんな無茶苦茶やね」と言いが、署名を書いてくれました。私たちは、しっかりと未来を考える、大人を増やしていかなければなりません。今、来年度の中学教科書採用に向けて、図書館で閲覧、アンケート記入を行っています。戦争美化、憲法改正、人権無視の教科書を子どもたちに渡すわけにはいきません。

【読者からのたより】

中央本部発行の「抵抗の群像」を毎回楽しみに読んでいます。6月号には淡路島の長尾有氏を取り上げられていました。縁あって18年前から淡路島に月一回出かけていますが、この様な活動家が居られたことを初めて知りました。何処の地にも頑張っておられる人がいらっしゃるのですね。

(吹田市 藤嶋節子さん)



【本の紹介】 著者 渡辺国男
しのび寄る「新しい戦争」
「二」まで来ている戦争準備！
「戦争が廊下の奥に立ってゐた」は日米開戦2年前に俳人渡辺白泉が詠んだ句。庶民が知らないうちに戦争は始まり、気づいた時には日常の廊下に立っていた。そして現在：「新しい戦争」の実相を「台湾有事」の矢面に立つ南西諸島と著者の足元に見ながら、戦争国家づくりの今を追及する。

(日本機関紙出版センター)

文芸欄

俳句

安村 和義

白南風

能登人のやさしさ揺らぐ梅雨夕焼

意気地打つ御陣乗太鼓夏の海

青葉潮特攻回天基地洗う

噴井からあふるる平和まだ尽きず

白南風や再びの潮沖縄から

川柳

岩佐 ダン吉

〈鶴形・この一句〉(121)

手と足をもいだ丸太にしてかへし

・ 彬の代表句とも言われる川柳。

農作業も幼い子を抱くこともできぬ体に

されて：戦争の悲惨と愚かさを詠んで

〈私の時事吟〉

彬忌に不屈のペンを磨きたい

短歌

武田 俊郎

米軍の性犯罪と

これを隠蔽する政府糾弾!

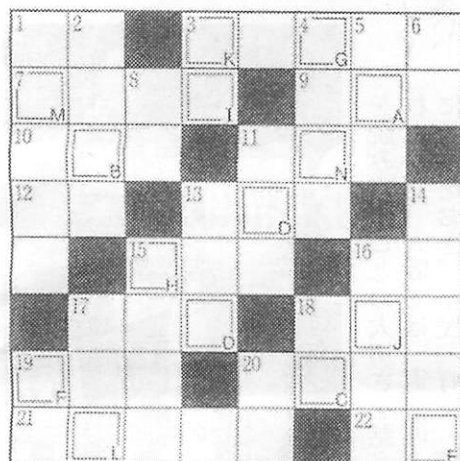
米軍の性犯罪を隠しつつ辺野古埋立杭打ち実

験

人も金も集中させる先はいま万博以外にないのかと問う

クロスワードパズル

カギを解きアルファベット順に並べて出来る文句を答えましょう



答え A B C D E F G H I J K L M N O

◆タテのカギ◆

- 不景気で——が遠のく
- 降雨がなく水が涸れる
- 酒が飲めない人
- 動植物の学術上の名称
- 寝台2台の——ルーム
- すねに——を持つ
- 真打ち
- の面(つら)に水
- かん高い声の色?
- 背負った小学生
- なアイデアを出す
- 野球などで球を受けそ
- こない後ろにのがすこと
- 休養して——を養う
- 干支の第三
- にも棒にも
- の穴に糸を通す

◆ヨコのカギ◆

- 液体が気体に変化
- ギターや三味線など
- 針金・板金などを挟むのに使う鉄製工具
- ×式——に答える
- 毒にも——にもならぬ
- 舞踏会。——夫婦
- 永遠の——を誓う二人
- 新進——の作家
- 登山用のロープ
- 精も——も尽き果てる
- はるばる訪ねる
- 永久——が瞬け始める
- 虚礼——運動
- 叱られた——に殴る
- 業績不振で——が悪化
- のひと声

クロスワードパズル `正解者、の中から厳正な抽選により1名の方に『治安維持法と現代』2024年春季号No.47を進呈します。ハガキに(FAX・メールでも可能) `回答、と、余白には、身近に生起する出来事などを書いてお送りください。

〒543-0045

大阪市天王寺区寺田町 2-6-2 ARK ビル 3 階
治安維持法国際同盟大阪府本部 機関紙編集委員会宛

TEL/FAX 06-6772-7555

E-mail: tidouosk@opal.plala.or.jp

【編集後記】
記録的な暑さの日々です。それでも平和行進は歩き続けています。▲満洲・朝鮮、東南アジア諸国への侵略などとは全く関係のない、平和を願う国民が一瞬の内に命を失い、また一生苦しめかねなければならぬことにされるなんて▲あの閃光にさらされた人々はどれだけ熱い思いをしたのでしょうか? ▲平和行進を続ける皆さん、身体には十分気を付けて最後までバトンを渡し切ってください▲8月15日「敗戦の日」京橋宣伝も、暑いなか沢山のみなさん! お集まり下さい。(甲斐)